

ジャンル	子ども・教育 日本語学習 医療・福祉 労働 災害対策 意識啓発 地域づくり 推進体制の整備 その他
事業名	生活行政用語ポルトガル語標準訳リスト作成及びポルトガル語通訳者・翻訳者・相談員連携事業
団体名	公益財団法人浜松国際交流協会

***** 事業のポイント *****

- ① 現場の通訳者・相談員からのニーズを形にした。
- ② 現場を持つ通訳者・相談員が中心となって語彙を収集し、意見交換をし、標準訳リストとしてまとめた。この過程が、通訳者・相談員の勉強となり、結果としてスキルアップにつながった。
- ③ 企画全体のコーディネートをブラジル人当事者コーディネーターが行ったことにより、今後も続くネットワークが形成された。

助成年度	平成 24 年度地域国際化施策支援特別対策事業	事業総額	800 千円
------	-------------------------	------	--------

事業の内容、成果等

事業実施の背景

浜松市はブラジル人を中心とする外国人住民が多く、市内の公的機関には区役所等の市の機関をはじめ多くのポルトガル語通訳者が配置されている。しかし、通訳間の連携や、行政サービスを通訳・翻訳して伝える際に必要な生活用語や行政用語のポルトガル語の訳語について統一見解がなく、しばしばブラジル人住民や通訳者の間での誤解や混乱を招いている。その理由としては、通訳の資格やレベル、条件について統一した基準がないこと、通訳・翻訳の内容をチェックする機能が日本側の機関にないこと、通訳・翻訳者はそれぞれ個々の機関に様々な条件で雇用されており、しかも研修等の機会や通訳間の連携を取るような機会がほとんどないことなどがあげられる。

そのような中、当協会は浜松市からの委託を受け、平成20年度から「多文化社会のためのソーシャルワーク研修」を開催し、通訳者や相談員の研修及び連携を深める事業を実施してきた。このソーシャルワーク研修の一環として行われてきた「ケース検討会」において、ポルトガル語生活用語の統一の必要性が特に強調されてきた。

事業の目的

平成 20 年度から当協会が実施してきたソーシャルワーク研修の静岡県内及び全国の人的ネットワークを活かしつつ、ポルトガル語の生活用語統一作業を行う。

また、学識経験者等の検討委員のみでなく、実際に行政窓口等で通訳や翻訳を行うなどの現場を持つ協力者に、実際の作業に関わってもらうことで、現場の通訳・翻訳者の研修や意識向上、連携も兼ねる。さらに、完成した用語集の普及を通してポルトガル語通訳・翻訳者・相談員どうしの連携を図る。

事業内容

ポルトガル語生活用語の統一及びポルトガル語通訳・翻訳者・相談員連携事業

【検討委員】* 検討委員会2回開催

- ・イシ アンジェロ(武蔵大学社会学部 准教授)
- ・遠藤 クラウジオ (ポルトガル語雑誌 ALTERNATIVA 編集者)
- ・鎌田 ファティマ (株式会社アイピーシー・ワールド 編集長)
- ・島村 暁代 (東京大学大学院法学政治学研究科 講師)
- ・浜田 エミリア(医師、AMDA 国際医療情報センター)
- ・山本 ルシア (静岡大学教育学部 講師)

【現場協力者】* 協力者会議2回開催。その他、メールと SKYPE による意見交換を実施。

・16人(浜松市および近隣で通訳者や相談員として現場を持つブラジル人)
【ネットワーク会議】平成 25 年 2 月 23 日(土)

ポルトガル語通訳・翻訳者・相談員ネットワーク会議

事業の成果

冊子『生活・行政用語ポルトガル語標準訳リスト』

用語数 209 語

発行数 200 部

言語 日本語・ポルトガル語・ローマ字表記の併記

監修 駐日ブラジル大使館

後援 在浜松ブラジル総領事館

* 公益財団法人浜松国際交流協会HP

(<http://www.hi-hice.jp/index.php>) からダウンロード可能。



特徴・工夫した点

- ① 現場の通訳者・相談員からのニーズを形にした。
- ② 現場を持つ通訳者・相談員が中心となって語彙を収集し、意見交換をし、標準訳リストとしてまとめた。この過程が、通訳者・相談員の勉強となり、結果としてスキルアップにつながった。
- ③ 検討委員にブラジル・マスコミを入れたことで、全国的な普及をねらった。
- ④ 駐日ブラジル大使館に監修してもらうことで、訳語の精度を上げ、冊子の信用を高めることをねらった。
- ⑤ 企画全体のコーディネートブラジル人当事者コーディネーターが行ったことにより、今後も続くネットワークが形成された。

苦労した点

- ・関係者が多く、意見調整が非常に困難であった。
- ・多様な分野にわたる膨大な語彙の検討を行うのは非常に困難であった。
- ・市町で制度が細かい点で異なる場合や、ブラジルにはない制度の場合の訳語を定めるのは非常に困難であった。

今後の課題

- ・今回は、209語しか掲載できなかったため、今後も継続して語彙数を増やしていくことが必要。
- ・この標準訳リストを使ってもらおう中で、改定していく語彙もあると思うので、継続して検討が必要。
- ・語彙の追加・改定が必要になってくるので、インターネットにおいてデータで情報を管理し、誰でも参照できるようにしていく必要がある。

その他

* 冊子(限定200部)を無料でお分けします。在庫数を電話(053-458-2170)で確認の上、80円切手2枚と送付先住所を下記までお送りください。

公益財団法人浜松国際交流協会(ポルトガル語標準訳リスト担当)

〒430-0916 浜松市中区早馬町2-1 クリエイト浜松4階